

環境調査結果のお知らせ

令和6年10月9日11時から野見湾の環境調査を実施しました。

概況

検鏡の結果、魚類に有害なヘテロシグマ・アカシオが最高で1 cell/mL確認されました。

海や養殖魚、貝類の状態に不安や変化を感じた時は、良く洗ったペットボトルに海水を汲むなどして、水産試験場か中央漁業指導所まで連絡してください。

調査点 (透明度) 【調査時刻】	海洋環境				プランクトン
	深度	水温	塩分	溶存酸素	ヘテロシグマ・ アカシオ
	(m)	(°C)		(mg/L)	
A ガラク (9.5m) 【12:03】	0	26.8	32.3	6.2	0
	2	26.8	32.4	6.1	0
	5	26.8	32.7	5.9	0
	10	26.8	33.0	5.9	0
	底層 16.5	26.8	33.6	6.0	-
B 勢井 (8m) 【12:13】	0	27.0	32.2	6.5	0
	2	26.8	32.2	6.2	0
	5	27.1	32.6	5.9	0
	10	27.0	32.9	5.1	0
	底層 19	26.8	33.5	5.4	-
C 馬の背 (10.5m) 【12:19】	0	27.0	32.1	6.5	0
	2	27.0	32.2	6.3	0
	5	27.0	32.6	5.8	0
	10	27.0	32.9	4.9	0
	底層 24	26.8	33.6	5.8	-
D 大室戸 (9.2m) 【11:32】	0	26.9	32.0	6.7	0
	2	26.8	32.3	6.3	0
	5	26.9	32.6	5.2	0
	10	27.0	33.0	4.8	0
	底層 20.5	26.8	33.3	5.3	-
E 白浜 (12m) 【11:49】	0	26.5	32.0	6.6	0
	2	26.5	32.0	6.5	-
	5	26.5	32.2	6.5	0
	10	26.8	32.9	5.3	-
	底層 16	26.8	33.3	5.7	-
F 湾奥ブイ (5.7m) 【11:23】	0	27.0	31.7	6.9	1
	2	27.0	32.1	6.9	0
	5	27.2	32.6	6.3	0
	10	27.0	32.9	4.9	0
	底層 16.5	26.8	33.4	5.4	-
G 野見漁協前 (4.8m) 【11:18】	0	26.5	28.7	7.1	0
	2	27.2	32.4	6.6	-
	底層 5	27.3	32.6	6.1	0

調査点 (透明度) 【調査時刻】	海洋環境				プランクトン
	深度 (m)	水温 (°C)	塩分	溶存酸素 (mg/L)	ヘテロシグマ・ アカシオ
H 大谷漁港内 (4.5m) 【12:38】	0	26.9	25.8	7.3	0
	2	27.4	32.5	6.6	-
	5	27.2	32.7	5.8	0
	底層 10	26.9	33.0	3.9	-

参考：有害プランクトンの種類と注意及び警戒基準

有害プランクトン	被害	注意基準 (※1)	警戒基準 (※2)	主な赤潮発生時期 ※3		
				浦ノ内湾	野見湾	宿毛湾
<i>Karenia mikimotoi</i> (カレニア・ミキモトイ)	魚類等のへい死	100 cells/mL	1,000 cells/mL	5~8月	6~8月	—
<i>Chattonella</i> spp. (シャットネラ属)	魚類等のへい死	10 cells/mL	100 cells/mL	6~8月	—	—
<i>Cochlodinium polykrikoides</i> (コクロディニウム・ポリクリコイデス)	魚類等のへい死	10 cells/mL	100 cells/mL	—	2~4月	5~6月
<i>Heterosigma akashiwo</i> (ヘテロシグマ・アカシオ)	魚類等のへい死	5,000 cells/mL	50,000 cells/mL	3~12月	4~8月	4~11月
<i>Dictyocha</i> spp. (ディクチオカ属)	魚類等のへい死	—	5,000 cells/mL	6~7月	4月	—
<i>Takayama</i> spp. (タカヤマ属)	魚類等のへい死	—	10,000 cells/mL	8~9月	—	—
<i>Heterocapsa circularisquama</i> (ヘテロカプサ・サーキュラリスカーマ)	二枚貝のへい死	—	500 cells/mL	8~11月	—	—
<i>Alexandrium</i> spp. (アレキサンドリウム属)	二枚貝の毒化	10 cells/mL	100 cells/mL	—	1~4月	3~5月
<i>Gymnodinium catenatum</i> (ギムノディニウム・カテナータム)	二枚貝の毒化	—	1 cell/mL	—	—	2~7月

※1 注意基準：餌食いの悪化、警戒基準に達する恐れのある密度

※2 警戒基準：魚類及び二枚貝のへい死並びに二枚貝の毒化が想定される密度

※3 あくまで目安なので、水産試験場・漁業指導所の広報や養殖魚の状態に応じて、慎重な養殖管理をお願いします。



- A: ガラク
- B: 勢井
- C: 馬の背
- D: 大室戸
- E: 白浜
- F: 湾奥ブイ
- G: 野見漁協前
- H: 大谷漁港内